

## おわりに

- 第5フェーズでは、引き続き市町村教育委員会との緊密な連携の下、本書に沿って「芯の通った学校組織」の確立を図ることで、子どもの力と意欲を一層伸ばせるよう取組を進めていく。
- また、本書でも一部項目において「取組深化」の方向性を示したところであるが、第5フェーズの期間中には、「芯の通った学校組織」の取組の効果検証を踏まえ、「活用推進プラン」後の展開について検討する予定である。
- 第5フェーズで目標とする「『芯の通った学校組織』の確立」の上にとり組の「質」を追求するとともに、「大分県長期教育計画（『教育県大分』創造プラン2016）」を踏まえ、縦と横を意識した「芯の通った学校組織」の取組深化の具体的な方向性を検討する必要がある。併せて、国が示した「次世代の学校・地域」創生プランに基づく教育改革や高大接続改革等を見据えた取組の展開方策についても検討の俎上にのせる必要がある。
- その際には、校種間連携の取組然り、「地域とともにある学校づくり」の取組然り、県内各地域における先進的な取組の調査研究が求められる。また、「芯の通った学校組織」の取組をベースとして各学校や地域の実情に応じた効果的取組が展開されるためにも、学校現場や市町村教育委員会との意思疎通を密なものとする必要がある。
- 本書に沿った第5フェーズの取組、「活用推進プラン」後の展開を通じて、大分県の全ての子どもたちが未来を切り拓く力と意欲を身に付けることができるよう、「教育県大分」の創造に向けた取組を着実に進めていく。